

アジアの 仏たち

永青文庫の
東洋彫刻
コレクション



重要文化財「菩薩半跏思惟像」
中国北魏時代（6世紀前半） 永青文庫蔵

2026年
1/17 (SAT)
3/29 (SUN)

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】毎週月曜日（ただし2/23は開館し、2/24は休館）

【入館料】一般1000円／シニア（70歳以上）800円／大学・高校生500円
※中学生以下、障害者手帳をご提示の方及びその介助者（1名）は無料。

主催 ● 永青文庫 特別協力 ● 熊本県立美術館、ホテル椿山荘東京

※状況により、臨時に休館や開館時間の短縮を行う場合がございます。

※ご来館にあたって事前予約は必要ありませんが、混雑時はお待ちいただく場合がございます。

細川コレクション



永青文庫

EISEI BUNKO MUSEUM



「道教三尊像」中国 北魏時代 永平年間 (508～511年)



重要文化財「如来坐像」中国 唐時代 (8世紀前半)



「ターラー菩薩立像」インド パーラ時代 (9～10世紀)
熊本県立美術館保管

像が多く含まれます。
本展では「菩薩半跏思惟像」や「如来坐像」(いずれも重要文化財)をはじめとする中国彫刻のほか、多種多様なインド彫刻を7年ぶりにご覧いただきます。
また、2025年8月より1年間、日本最古の美術誌『國華』の表紙を、「細川ミラー」の名で広く知られる「金銀錯狩獵文鏡」(国宝)が飾っています。それを記念して本展で特別展示します。

永青文庫の東洋彫刻 コレクションを一挙公開

永青文庫の設立者である細川護立(1883～1970)は幼少期から漢籍に親しみ、渡欧を機に東洋美術を広く蒐集し始めました。中国の石仏・金銅仏、インドや東南アジアの彫刻をもコレクションに加えています。とりわけ北魏から唐時代におよぶ中国彫刻は、近代日本においていち早く中国美術を紹介・蒐集した早崎梗吉(1874～1956)の旧蔵品が大半を占め、各時代の特徴を表した重要な



特別展示

『國華』表紙

国宝「金銀錯狩獵文鏡」
中国 戦国時代(前4～前3世紀)



重要文化財「如来坐像」中国 宋時代 元嘉14年(437年)

※すべて永青文庫蔵

永青文庫×ホテル椿山荘東京
訪日外国人向け宿泊特典をご用意

Partnership with Hotel Chinzanso Tokyo

Hotel Chinzanso Tokyo offers a special benefit for international tourists that includes admission to Eisei Bunko Museum. Please visit the website of the hotel for further details.



詳しくはホテル
椿山荘東京のHP
をご覧ください。

【交通案内】

《バス》JR目白駅(「目白駅前」バス停)・副都心線雑司が谷駅 出口3(「鬼子母神前」バス停)より、都営バス「白61 新宿駅西口」行きにて「目白台三丁目」下車徒歩5分
《都電》都電荒川線早稲田駅より徒歩10分
《地下鉄》有楽町線江戸川橋駅(出口1a)より徒歩15分/東西線早稲田駅(出口3a)より徒歩15分
《ドコモ・パイクシェア》E2-14. 永青文庫

細川コレクション

永青文庫
EISEI BUNKO MUSEUM

〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1 TEL: 03-3941-0850 <https://www.eiseibunko.com/>

